



## 今月の人権標語

# 「誰か」じゃなく 自分になろう その「誰か」

やっと冬めいた気候になってきました。風邪を引いたりしていませんか？今月の人権標語にぴったりの話を長嶋先生が書いてくださいました。これを読んで、「自分もできるかも」と自信を持ったりして、心を温めましょう。もうすぐ冬休みです。本や映画など様々なものに触れて、人権感覚を磨いていってくださいね。



「誰かがやる」ではなく「自分がやる」

保健体育科 長嶋 郁

皆さんは目の前で気づ知らずの人が困っていたら、迷うことなく話しかけることができますか？その人が性別、人種など自分と異なる場合でも話しかけることができますか？私が高校生の時は、全くできませんでした。想像がつかない方が多いと思いますが、私は高校生の頃は人前に出て何かをする、積極的に周りの人に声をかけるといったことは苦手でやりたくもなかったです。そんな性格だったため、いざ困っている人と出会った際に見て見ぬふりをしてしまい今でも後悔しています。

そこで私は、自分を変えるために毎日「一日一善」をするようにしました。人助けなど大きなものではなく、見つけたごみを拾うのです。必ず拾い、ごみ箱に捨てる。今までの自分なら「誰かがやる」「あれくらいなら」などと逃げていましたが、拾うことが習慣となり、落ちているごみを見過ごさなくなりました。また友人とのご飯の帰りに、おじいさんが自転車でこけたのを見て「自分が行かなければ」と思い、助けに行くことができたのです。高校生の頃の私であれば考えられないことです。

人は助け合い、思いやることが大事というのはよく聞きますが、その通りだと思います。「誰かがやる」ではなく「自分がやらなければ」と考えることが大事なのではないでしょうか。すぐに変わることは難しいですが少しずつ習慣づければ変わってくるはずですよ。もし一歩踏み出せなければ、まずはごみを拾うことから始めてみてはどうでしょう。学校もきれいになりますし、心もすっきりしますよ？

読んでいただいてありがとうございました。



## ■ みんなの声 ~前回の人権だよりを読んで~ □

### <生徒からの声>

- ・文字が書けない人たちというのは、外国に限った話ではなく、日本でもあることだということを改めて理解しました。学ぶことは人生を豊かにするために重要な一つの手段なのだと思います。
- ・最近、自分は当たり前だと思うことも、本当は誰かのおかげで成り立っているということをよく考えるようになりました。知識を増やしていくことで、当たり前の大きさに気づき、豊かな人生にしたいと思います。
- ・この人権だよりを読むまで、夜間中学の存在すら知りませんでした。今は普通に学校に通って勉強できていますが、差別などのいろいろな事情で勉強できていないという人がいることを理解しておきたいです。
- ・僕もこれを読むまで夜間中学校の存在を知りませんでした。勉強は僕は大好きですが、一般的には嫌い、したくないと思っている人が多いです。しかし勉強していなかったら、当たり前と思われていることができません。それほど勉強が大事であるということ、たくさんの人に知ってほしいと思いました。
- ・今、普通に学校に通っている人たちからしたら、名前を書けることなんて当たり前ですが、学校に通っていなかった人たちからしたらとても嬉しいことだと知り、勉強に限らず、何でも当たり前と思わなかったら、何事にも前向きに取り組めるんじゃないかなと思いました。
- ・私も夜間中学に通っている生徒さんに負けないくらい勉強していきたいです。そして、いろいろな選択肢を増やしていきたいと思いました。
- ・普段、当たり前のように通っている学校をどうして行かないといけなのだろうかと不満に思うときが時々あります。でもこの話を聞いて、行きたくても行けなかった人の思いを感じると、感謝しないといけなし、学校はとても大切な場所だということが分かりました。



### 【保護者用】

今月の人権だよりを読んだ感想をお願いします。 ※締切り 12月19日(水)

( )年 保護者


### 【生徒用】

今月の人権だよりを読んだ感想を書こう。 ※締切り 12月19日(水)

( )年 ( )組
